

■田代三喜 医僧。中国から金元時代に興った李朱医学を初めて日本に導入し，近世医学興隆の祖となった。

たしろさんき

・ ・ ・ ・ ・ 1465 = 武蔵国越生で，武士の子に生まれる。

応仁の乱始・1467 = 2歳：

加賀一揆始・1474 = 9歳：

応仁の乱終・1477 = 12歳：

京都本願寺・1479 = 14歳：_医者_をを志し，

狩野正信絵師1483 = 18歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1487 = 22歳：_商船_にに便乗して明に渡り，

・ ・ ・ ・ ・ 1488 = 23歳：_名医月湖に就いて，李朱医学を学び，

足利義政没・1490 = 25歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1492 = 27歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1498 = 33歳：*月湖の著書その他の医学書を携えて帰国し，鎌倉円覚寺を経て，

・ ・ ・ ・ ・ 1501 = 36歳：_足利_にに住むうち，

・ ・ ・ ・ ・ 1509 = 44歳：*名声を聞きつけた古河公方から招請されて，古河に移り，

朝鮮三浦の乱1510 = 45歳：_関東一円を往来して庶民を治療し，"古河の三喜"として尊敬される。

義興周防帰国1518 = 53歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1519 = 54歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1524 = 59歳：*生まれ故郷越生に戻り，なお医療活動を続ける。

大内義興没・1528 = 63歳：

天王寺合戦・1531 = 66歳：この年，曲直瀬道三が入門。

・ ・ ・ ・ ・ 1537 = 72歳：

鉄砲伝来・ ・ 1543 = 78歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1544 = 79歳：_没した。

「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，「本朝医人伝」，「武士の養生訓」，インターネット，